

第1問A 問題のねらい

地中海とその周辺地域において展開された大規模な人の移動を示した地図を基に，接触や交流に関わる歴史的事象について整理し，大観的に理解する力を問う。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	
問1	1	(3) 諸地域世界の交流と再編 ア イスラーム世界の形成と拡大 エ 空間軸からみる諸地域世界	地中海とその周辺地域における大規模な人の移動についての理解	資料から読み取った情報や習得した知識を活用して，歴史的事象の展開について考察することができる。(推移や変化)	地図上の矢印で表されている，ヨーロッパと北アフリカの間で南北方向に展開された人の移動を考察する。
問2	2	(3) 諸地域世界の交流と再編 エ 空間軸からみる諸地域世界 (4) 諸地域世界の結合と変容 ア アジア諸地域の繁栄と日本	近代以前の地中海とその周辺地域における大規模な人の移動についての理解	資料から読み取った情報や習得した知識を活用して，歴史的事象の展開について考察することができる。(推移や変化)	地図上の矢印で表されている，ヨーロッパと西アジアの間で東西方向に展開された人の移動の事例について，その内容をとらえる。
問3	3	(3) 諸地域世界の交流と再編 ア イスラーム世界の形成と拡大 イ ヨーロッパ世界の形成と展開	地中海とその周辺地域の諸勢力についての理解	諸地域世界の接触や交流などが歴史的事象にどのように作用したのかを明らかにすることができる。(事象相互のつながり)	地中海とその周辺地域で接触した国家・王朝について考察し判断する。

第1問B 問題のねらい

作製年代の違う二つの地図を基に、地図の特色や差異を読み取り、人や物の移動や交流に関する歴史的事象と関連付けて考察する力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	
問4	4	(3) 諸地域世界の交流と再編 ア イスラーム世界の形成と拡大	世界史上の貿易の特色についての理解	複数の歴史的事象を比較して共通性や差異をとらえることができる。(諸事象の比較)	特産品の貿易について比較し、サハラ貿易の特色をとらえる。
問5	5	(3) 諸地域世界の交流と再編 ウ 内陸アジアの動向と諸地域世界 (4) 諸地域世界の結合と変容 イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界	世界史上の使節・旅行家・探検家についての理解	資料から読み取った情報や習得した知識を活用して、歴史的事象の展開について考察することができる。(推移や変化)	大陸や海洋を舞台として活躍した人物の業績を時系列でとらえ、地理的知識の拡大についての説明と結び付けて考察する。
問6	6	(2) 諸地域世界の形成 ウ 東アジア世界・内陸アジア世界 エ 時間軸からみる諸地域世界 (4) 諸地域世界の結合と変容 ア アジア諸地域の繁栄と日本 (5) 地球世界の到来 ア 帝国主義と社会の変容	朝鮮半島の歴史についての理解	歴史的事象を時系列的にとらえることができる。(時系列)	資料から読み取った地図の作製年代を基に、朝鮮半島を舞台とした出来事を時系列的に位置付ける。

第1問C 問題のねらい

カナダの言語事情に関するグラフを基に、資料から読み取ることのできる情報について、その要因や背景等を北アメリカの歴史と関連付けて考察する力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	
問7	7	(1) 世界史への扉 ウ 日常生活にみる世界の歴史 (4) 諸地域世界の結合と変容 イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界	北アメリカにおける英仏による植民活動についての理解 資料から目的に応じた情報を読み取る技能	資料から読み取った情報と歴史的事象との関わりを類推することができる。	現代のカナダにおける言語事情の特色をグラフから読み取り、読み取った特色と、その歴史的な要因として考えられるヨーロッパ諸国の植民活動とを関連付けて考察する。
問8	8	(4) 諸地域世界の結合と変容 ウ 産業社会と国民国家の形成 (5) 地球世界の到来 イ 二つの世界大戦と大衆社会の出現	アメリカ合衆国の歴史におけるアジア系移民についての理解	資料から読み取った情報や習得した知識を活用して、歴史的事象の展開について考察することができる。(推移や変化)	アメリカ合衆国におけるアジア系移民に関する歴史的事象について考察する。

第2問A 問題のねらい

ポリュビオスの『歴史』を要約し説明している文章を基に，古代ギリシア・ローマの政治体制・政治思想を概念化してとらえたり，近代ヨーロッパの政治思想との類似性を推察したりする力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	
問1	9	(2) 諸地域世界の形成 ア 西アジア世界・地中海世界	ローマ共和政の政治体制についての理解	背景，原因，結果，影響に着目して歴史の諸事象相互の関連を明らかにすることができる。（事象相互のつながり）	ローマ共和政の性格と，その時期に活躍した人物の事績を，資料の文脈の中でとらえる。
問2	10	(4) 諸地域世界の結合と変容 イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界 ウ 産業社会と国民国家の形成	近代ヨーロッパの政治思想についての理解	複数の歴史的事象を比較して共通性や差異をとらえることができる。（諸事象の比較）	ローマ共和政の政治体制と近代ヨーロッパの思想家が主張した政治体制を，機能面での類似性に着目して，結び付けて考察する。
問3	11	(2) 諸地域世界の形成 ア 西アジア世界・地中海世界	古代ギリシアにおけるアテネ民主政についての理解	資料から読み取った情報と歴史的事象との関わりを類推することができる。	資料中の比喻表現を，民主政最盛期のアテネについての歴史的事象と結び付けて考察する。

第2問B 問題のねらい

帝国主義時代のアジア諸国の状況について述べた日本人の回想録を基に、文語体の初見資料を読み解いて、欧米列強による植民地支配について理解したり、著者の活動内容を一般化して考察したりする力を問う。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	
問4	12	(5) 地球世界の到来 ア 帝国主義と社会の変容	欧米列強による東南アジアにおける帝国主義政策の展開についての理解 資料から目的に応じた情報を読み取る技能	資料から読み取った情報や習得した知識を活用して、歴史的事象の展開について考察することができる。(推移や変化)	資料から、近代のフィリピンにおける植民地支配への抵抗を、国際関係の中でとらえる。
問5	13	(4) 諸地域世界の結合と変容 オ 資料からよみとく歴史の世界	帝国主義時代の支配と従属についての理解 資料から目的に応じた情報を読み取る技能	複数の歴史的事象を比較して共通性や差異をとらえることができる。(諸事象の比較)	資料中の表現を歴史的文脈の中で適切にとらえ、その内容について考察し判断する。
問6	14	(4) 諸地域世界の結合と変容 オ 資料からよみとく歴史の世界 (5) 地球世界の到来 ア 帝国主義と社会の変容	帝国主義時代のアジアにおける民族運動についての理解 読み取った情報をまとめる技能	資料から読み取った情報と歴史的事象との関わりを類推することができる。	資料から読み取った情報を基に、著者の活動の内容を歴史的な文脈の中で推測し判断する。

第2問C 問題のねらい

インドネシアの国章に関する会話文を基に、会話や図版から読み取った情報と、国家の歴史及び建国者の政治思想とを関連付けて考察する力を問う。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	
問7	15	(2) 諸地域世界の形成 イ 南アジア世界・東南アジア 世界	インドネシアの歴史と文化についての理解		インドネシアの歴史を、世界史上の歴史的事象の中で適切にとらえる。
問8	16	(5) 地球世界の到来 ウ 米ソ冷戦と第三世界	歴史的経緯を踏まえたインドネシアの建国についての理解 読み取った情報をまとめる技能	歴史的事象の多面的・多角的な考察を通して、日本や世界の歴史の展開や歴史的な意味や意義をとらえることができる。	インドネシアの建国の指導者と、会話文や図版から読み取った建国の理念とを関連付けて考察する。

第3問A 問題のねらい

中国製磁器を基に、磁器の来歴やヨーロッパへの移出の背景を、他の歴史的事象と関連付けて考察する力を問う。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	
問1	17	(1) 世界史への扉 ウ 日常生活にみる世界の歴史 (4) 諸地域世界の結合と変容 ア アジア諸地域の繁栄と日本	16世紀のア ジアにおける 東西貿易につ いての理解	考察したことや構想 した過程や結果を、理 由や根拠に基づいてま とめることができる。	資料とその説明を基に、当時 の東西貿易の経路や担い手につ いて考察し、この磁器の来歴を 推測する。
問2	18	(4) 諸地域世界の結合と変容 ア アジア諸地域の繁栄と日本	世界の一体 化をもたらした銀の流れと、 中国の社会・ 経済の変化に ついての理解	背景、原因、結果、 影響に着目して歴史の 諸事象相互の関連を明 らかにすることができる。 (事象相互のつな がり)	16世紀の中国における社会・ 経済の変化をとらえ、その変化 の要因や影響について考察する。
問3	19	(1) 世界史への扉 ウ 日常生活にみる世界の歴史 (4) 諸地域世界の結合と変容 イ ヨーロッパの拡大と大西洋 世界	世界の一体 化によるヨー ロッパにおけ る消費生活の 変化について の理解	諸地域世界の接触や 交流などが歴史的事象 にどのように作用した のかを明らかにするこ とができる。(事象相 互のつながり)	18世紀頃のヨーロッパでの新 たな飲食習慣の拡大について、 その内容をとらえる。

第3問B 問題のねらい

インドで流通した時代の異なる三つの貨幣を基に、貨幣に刻まれた宗教や文化等に関する情報を手掛かりとして、それぞれを発行した王朝を特定し、歴史的事象の展開について考察する力を問う。

	解答番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・表現力	
問4	20	(2) 諸地域世界の形成 ウ 東アジア世界・内陸アジア世界	中国における仏教の布教や、仏教の普及に貢献した人物についての理解	諸地域世界の接触や交流などが歴史的事象にどのように作用したのかを明らかにすることができる。(事象相互のつながり)	提示された資料を基に、当時活躍した人物について、その業績と関連付けてとらえる。
問5	21	(2) 諸地域世界の形成 ア 西アジア世界・地中海世界	古代のイラン文明についての理解	資料から読み取った情報や習得した知識を活用して、歴史的事象の展開について考察することができる。(推移や変化)	提示された資料を基に、古代のイラン地方における王朝の変遷と宗教・文化の特色とを結び付けて考察する。
問6	22	(2) 諸地域世界の形成 イ 南アジア世界・東南アジア世界 (4) 諸地域世界の結合と変容 ア アジア諸地域の繁栄と日本	北インドを支配した王朝の変遷についての理解 資料から目的に応じた情報を読み取る技能	歴史的事象を時系列的にとらえることができる。(時系列)	提示された資料を基に、三つの貨幣を発行した王朝を特定し、時系列的に位置付ける。

第4問A 問題のねらい

ポーランド分割の風刺画を基に、資料から読み取った情報と習得した知識を活用して、18世紀以降のヨーロッパの政治状況について考察する力を問う。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	
問1	23	(5) 地球世界の到来 イ 二つの世界大戦と大衆社会の出現 エ グローバル化した世界と日本	20世紀のヨーロッパにおける政治状況についての理解	歴史的事象を時系列的にとらえることができる。(時系列)	20世紀前半のヨーロッパの歴史的事象について、その内容をとらえる。
問2 (1)	24	(4) 諸地域世界の結合と変容 イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界	18世紀におけるヨーロッパの啓蒙専制君主についての理解 資料から目的に応じた情報を読み取る技能	資料から読み取った情報と歴史的事象との関わりを類推することができる。	風刺画から情報を読み取り、ヨーロッパの啓蒙専制君主と、その統治する国家とについて、複数の正答の中から一つを選ぶ。
問2 (2)	25	(2) 諸地域世界の形成 エ 時間軸からみる諸地域世界 (4) 諸地域世界の結合と変容 イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界 ウ 産業社会と国民国家の形成 (5) 地球世界の到来 イ 二つの世界大戦と大衆社会の出現	近世及び近代のヨーロッパにおける政治状況についての理解	複数の歴史的事象を比較して共通性や差異をとらえることができる。(諸事象の比較)	(1)において選択した解答に基づいて、ロシアまたはプロイセンに関する歴史的事象を判断し、時系列的に位置付ける。 (解答が前問の解答と連動し正答の組合せが複数ある問題)

第4問B 問題のねらい

遊牧国家が中国王朝について言及した時代の異なる二つの初見資料を基に、両者を比較したり関連付けたりして考察する力や、関連する別の複数の資料を比較して内容をとらえる力を問う。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	
問3	26	(2) 諸地域世界の形成 ウ 東アジア世界・内陸アジア世界 (4) 諸地域世界の結合と変容 ア アジア諸地域の繁栄と日本 オ 資料からよみとく歴史の世界	遊牧国家と中国王朝の関係についての理解 読み取った情報をまとめる技能	背景、原因、結果、影響に着目して歴史の諸事象相互の関連を明らかにすることができる。(事象相互のつながり)	資料から読み取った情報を基に、中国の特産物と、二つの遊牧国家に共通する中国王朝に対する外交姿勢とを関連付けて考察する。
問4	27	(2) 諸地域世界の形成 ウ 東アジア世界・内陸アジア世界	中国の政治・制度・文化についての理解	資料から読み取った情報や習得した知識を活用して、歴史的事象の展開について考察することができる。(推移や変化)	復興後の突厥と同時代の中国王朝を特定し、その王朝が実施した政策について、その内容をとらえる。
問5	28	(4) 諸地域世界の結合と変容 オ 資料からよみとく歴史の世界	中国王朝と近隣諸国との外交関係についての理解 資料から目的に応じた情報を読み取る技能	複数の歴史的事象を比較して共通性や差異をとらえることができる。(諸事象の比較)	選択肢の資料から、中国の近隣諸国の中国王朝に対する姿勢を読み取り、問題文の資料との共通点と相違点を考察する。

第5問A 問題のねらい

イギリスの綿工業に関する表やグラフを扱った授業を基に、産業革命の要因や展開について、複数の資料を関連付けて考察する力を問う。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	
問1	29	(4) 諸地域世界の結合と変容 ウ 産業社会と国民国家の形成	イギリスの綿工業における産業革命の展開についての理解 資料から目的に応じた情報を読み取る技能	背景, 原因, 結果, 影響に着目して歴史の諸事象相互の関連を明らかにすることができる。(事象相互のつながり)	資料に示された綿糸価格の下落について, その背景となる産業革命に関連する歴史的事象を考察し判断する。
問2	30	(4) 諸地域世界の結合と変容 イ ヨーロッパの拡大と大西洋世界 ウ 産業社会と国民国家の形成	イギリスの綿工業を支えた世界的な分業システムについての理解 資料から目的に応じた情報を読み取る技能	資料から読み取った情報や習得した知識を活用して, 歴史的事象の展開について考察することができる。(推移や変化)	急増する原料綿花の供給地をグラフから読み取り, その地域での栽培の実態について考察する。
問3	31	(4) 諸地域世界の結合と変容 ウ 産業社会と国民国家の形成 エ 世界市場の形成と日本	イギリスの綿工業における産業革命についての理解 読み取った情報をまとめる技能	考察したことや構想した過程や結果を, 理由や根拠に基づいてまとめることができる。	イギリスの産業革命について, 複数の資料と結び付けて考察し判断する。

第5問B 問題のねらい

為替相場と国際原油価格の推移を表すグラフを扱った授業を基に、1970年以降の経済史の画期に関する背景や原因について考察する力を問う。

	解答 番号	高等学校学習指導要領の内容	主に問いたい資質・能力		小問の概要
			知識・技能	思考力・判断力・ 表現力	
問4	32	(5) 地球世界の到来 ウ 米ソ冷戦と第三世界	第二次世界大戦後の国際経済体制についての理解	背景, 原因, 結果, 影響に着目して歴史の諸事象相互の関連を明らかにすることができる。(事象相互のつながり)	固定相場制の要因となった歴史的な事象について, 内容をとらえる。
問5	33	(5) 地球世界の到来 エ グローバル化した世界と日本	アメリカ合衆国大統領の事績についての理解	歴史的な事象を時系列的にとらえることができる。(時系列)	グラフ上で指定された時期におけるアメリカ合衆国大統領を特定し, その外交政策について考察し判断する。
問6	34		1970年代以降に中東地域で起こった革命や戦争についての理解 資料から目的に応じた情報を読み取る技能	資料から読み取った情報や習得した知識を活用して, 歴史的な事象の展開について考察することができる。(推移や変化)	グラフと説明文とを関連付けて, 指定された時期の中東地域における革命や戦争の当事国である2国を特定し, それぞれの地図上の位置を判断する。